

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課
担当課長名：正木 昇

事業名	一般国道193号 倉羅工区	事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県 吉野川市 美郷 照尾 至：徳島県 名西郡 神山町 上分 名ヶ平			延長	5.1km
事業概要： 一般国道193号は、香川県高松市から徳島県海部郡海陽町に至る延長159kmの幹線道路であり、吉野川市美郷地区及び神山町上分地区にとっては唯一の生活幹線道路であるとともに、緊急輸送道路である。当事業は、「幅員狭小及び線形不良の隘路区間」や「事前通行規制区間」を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長5.1kmの改良事業である。					
平成4年度事業化		-		平成4年度用地着手	
全体事業費		111 億円		事業進捗率	
計画交通量		700 台/日		供用済延長	
費用対効果分析結果		B/C (事業全体) 1.01 (残事業) 3.01		総費用 (残事業)/(事業全体) 40.2/122.6億円 事業費: 39.6/122.1億円 維持管理費: 0.6/ 0.5億円	
感度分析の結果		【事業全体】交通量: B/C=0.9~1.1(交通量±10%) 事業費: B/C=0.9~1.1(事業費±10%) 事業期間: B/C=0.9~1.1(事業期間±2年)		【残事業】交通量: B/C=2.7~3.3(交通量±10%) 事業費: B/C=2.8~3.4(事業費±10%) 事業期間: B/C=2.7~3.3(事業期間±2年)	
事業の効果等 ■ 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間の解消） ■ 災害への備え（孤立化の解消・緊急輸送道路の整備） ■ 安全で安心できる暮らしの確保（災害拠点病院（救急対応医療機関）へのアクセス向上）					
関係する地方公共団体等の意見 ■ 以前より、「四国横断線改良促進期成同盟会」及び「一般国道193号倉羅バイパス開さく促進期成同盟会」において倉羅バイパスの早期整備が要望されており、地元の吉野川市及び神山町からも強い要望がある。					
事業採択時より今回再評価実施までの周辺環境変化等 ■ 平成23年3月に吉野川市の板野川島線（バイパス）、宮川内牛島停車場線（バイパス）開通。 ■ 平成26年8月に事業区間内にて山腹崩壊が発生。復旧までの約2ヶ月間全面通行止規制実施。全面通行止め解除以降から現在に至るまで、2t以上の重量制限規制を実施中。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ■ 平成27年度までの供用区間は全延長5.1kmのうち約0.8km(完成区間約1.2km)。 ■ 残事業は一部現道拡幅区間とトンネルの取り合い部を含むバイパス部の約3.9km。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ■ 現道拡幅区間における地すべり発生のため、対策工等の検討に時間を要した。 ■ 現道拡幅区間の整備及び残る用地取得を行い、早期に倉羅トンネルを整備し、平成30年代後半完成を目指す。					
施工の構造や工法の変更等 ■ 長大トンネルの安全性及び経済性を考慮の上、トンネル断面の見直し等を今後検討。					
対応方針		事業継続			
対応方針の決定理由 ■ 以上の事業効果・周辺状況等を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。